

私たちの 平城ニュータウン・朱雀 今と昔

令和2年(2020)11月6日講演

奈良県立図書館ITサポーター

平城ニュータウンの誕生

- ・大阪の住宅圏として生駒・学園前が開発され、さらに京阪奈地区の開発が必要。
- ・国家プロジェクトの関西文化学術研究都市建設の一環で、日本住宅公団によって1971年起工。
- ・歴史・景観を守る住みよい街の開発
- ・昭和40年(1965) 用地買収はじまる。
- ・昭和45年(1970) 平城ニュータウン造成開始

平城ニュータウンと平城京

平城京(710年~784年)
唐の長安を模倣(もほう)して建造された。
1300年前の都市計画



平城ニュータウンの造成 右京地区からスタート

昭和40年(1965) 用地買収はじまる。
日本住宅公団(現UR都市機構)「平城地区住宅団地計画」
昭和45年(1970) 平城ニュータウン造成開始



昭和45年(1970) 造成工事中
遠くに若草山



右京地区 山を削って平地に。
測量起点部は取り残されている

昭和47年
(1972)

高の原駅

新駅建設中

駅の橋梁建設中

朱雀地区造成中



朱雀小学校開校

昭和55年(1980)4月
(右京小学校より分割)



開校時4月の児童数は105人(5年生まで)、8月には268人と急増。

朱雀小学校

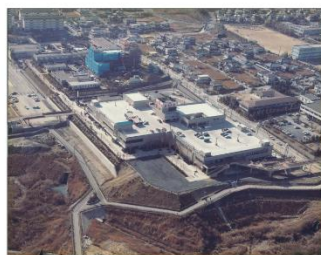
昭和55年
(1980)

幼稚園・保育園

朱雀第一住宅



サントウン高の原開業 昭和56年(1981)



高の原中央病院工事中(開業昭和57年)



昭和56年(1981)
朱雀小学校開校(昭和55年)
朱雀地区5・6丁目入居
サントウン高の原開業(昭和56年)